

第3章 保健予防推進担当

1 栄養・健康づくり

(1) 健康増進法に基づく、特定給食施設等に対する指導・助言

ア 指導・助言件数

施設の種類	特定給食施設		その他の給食施設	計
	1回100食以上又は1日250食以上	1回300食以上又は1日750食以上		
指導数	112	18	82	212
栄養・運動指導	16	0	0	16

イ 集団指導

管内給食業務従事者に対して、食中毒発生状況や最新情報、健康危機管理に関する知識を提供し、日常業務に生かすことを目的に研修を実施した。

実施日	内容	受講者数
平成28年 6月16日 会場 加須保健所	<p>< 講義 > ア講義「給食施設の衛生管理～最新の食中毒情報～」 講師 加須保健所 食品衛生監視員 イ講義 「埼玉県災害時栄養管理ガイドラインについて」 講師 加須保健所 栄養指導員</p>	給食施設管理者 ・管理栄養士・ 調理師等 77人

(2) 栄養関係団体育成事業

ア 調理師会

業務で飲食提供に関わる調理師に対して、健康に関する知識や情報を提供し、日常業務に生かすことを目的に研修を実施した。28年度は、災害時に備えた対応について研修を行った。

実施日	内容	受講者数
平成28年 9月28日 会場 行田地方庁舎	<p>平成28年度健康づくり調理師研修会 < 講義及び演習 > テーマ「食を通じた健康危機管理について」 ～埼玉県食料班サポートゲームを体験してみよう～ 講師 加須保健所 栄養指導員</p>	調理師等 50人

イ 食生活改善推進員

食生活改善に関わるボランティア活動を行っている食生活改善推進員に対して、健康増進に係る基礎知識の修得と活用を目的に研修を実施した。

実施日 会場	内 容	受講者数
平成28年 6月29日 加須保健所	(1)講演 「食の安全に関するリスクコミュニケーションについて」 講師 食品安全課 総務・安全推進担当職員 (2)講演「高校生の食生活事情について」 ～平成27年度高校生の健康・栄養実態調査結果から～ 講師 加須保健所 栄養指導員	59人

(3) 健康づくり協力店

「健康づくり協力店」とは、地域の皆さんの健康づくりを応援する飲食店で、提供する料理の栄養成分表示の掲示や健康情報の提供を行っている。

平成28年度は、生活習慣病予防キャンペーンを実施し、健康づくり協力店の活用と特定健診等の受診による健康づくりの推進を図った。

* 指定店舗は埼玉県ホームページで紹介。

市名	行田市	羽生市	加須市	埼玉県コバトン健康メニュー 提供店舗・メニュー数
				店舗数

(平成29年3月末現在) 新規指定4店舗含む。

(4) 食品表示に関する指導等

食品表示法(平成27年4月施行)及び食品表示基準に基づく食品製造業者等への指導を行った。

内 容	対 象	件 数
表示、誇大広告に関する相談、指導	事業者	5件
県民に対する啓発(集団指導)	県民	1回59人

(5) 食育

保育所(園)等を対象とした食育事業

実施日 会場	内 容	対 象 者
平成28年 10月6日 加須保健所	(1)講演「野菜を通じた幼児期からの食育支援について」 講師 日本野菜ソムリエ協会認定 野菜ソムリエ (2)講演「埼玉県食育推進計画(第3次)について」 講師 加須保健所 栄養指導員 (3)情報交換	保育園等の管理 栄養士・栄養士 24名 (21施設) 管理栄養士臨地 実習学生3名

(6) 災害時における食生活支援

災害時にあっても、できる限り健康が損なわれることなく生活を続けるために

は、健康の基盤となる「栄養・食生活」の環境や支援体制が整っていることが必要である。また、平時から災害時の食生活支援体制を検討しておくことが重要である。平成28年度は管内給食施設を対象に、災害時に備えた食環境整備状況についてアンケート調査により現状把握を行った。

(7) 受動喫煙防止対策

埼玉県では、受動喫煙防止対策の一環として、「全面禁煙・空間分煙実施施設」の認証を推進している。* 認証施設は埼玉県ホームページで紹介。

全面禁煙・空間分煙実施施設認証施設一覧 (平成29年3月末現在)

種 別	禁 煙 設 数	空間分煙施設
保健・福祉・医療機関	100	6
教育関係機関	63	2
文化・運動施設	21	0
公共交通機関	0	0
娯楽施設等	0	1
飲食店等	70	1
その他民間施設等	28	15
官公庁	16	0
合 計	298	25

(8) 生活習慣病対策総合推進事業

各保険者が実施する特定健診・保健指導事業が、円滑かつ効果的实施できるように各市特定健診・保健指導事業を担当する保健師、管理栄養士、国保事業担当者に対し支援を行った。

ア 特定健診受診率向上支援事業

(ア) 市町村健康長寿のための情報担当者会議

実施日 会場	内 容	人数
平成28年 8月31日 加須保健所	議 事 (1) 平成28年度特定健診・特定保健指導及び生活習慣病 予防対策の実施に関する検討結果を情報共有 (2) データヘルス計画の策定状況について	市職員 11人

(イ) 受診率促進啓発事業

開催日・対象	内 容
平成28年7月	JAほくさい広報誌7月号に、特定健診受診勧奨記事を掲載。22,000部
平成29年2月～ 平成29年3月末 対象：行政機関・工業団地連合会加入施設・商工会議所・商工会青年部他、管内に在住する県民及び事業所・食品営業許可対象施設 969施設	生活習慣病予防キャンペーンの実施 働き盛り世代を中心に、健康づくり協力店を活用した健康づくりについて情報提供を行った。また健康診断(特定健診)・がん検診等の受診勧奨を行った。

イ 専門職のスキルアップ研修会

実施日 会場	内 容	人数
平成29年 1月12日 加須保健所	(1)公開講座 講演「糖尿病予防のための食生活支援のポイント ～行動変容を促すアプローチ～」 講師：ヘルスサポート研究会カナン代表 健康教育コンサルタント・管理栄養士・ 産業カウンセラー (2)情報交換 (市職員のみ) テーマ ・特定健診・特定保健指導及び生活習慣病対策事業実施状況について ・データヘルス計画策定と策定後の事業評価について	市職員、 管理栄養 士、栄養 士他 25人

ウ 働く人の健康づくり

実施日 会場	内 容	人数
平成28年 11月28日 鴻巣市立 総合体育館	(1)講演「喫煙者への禁煙支援のポイント」 ～職場や保健指導の場でできる支援～ 講師 ファイザー株式会社 健康増進推進部 首都圏・東京エリア担当 担当マネージャー (2)講演「禁煙サポーター薬局の取り組みについて」 事例提供者 行田市薬剤師会会長 (3)講演「禁煙サポーター薬局の取り組みについて」 講師 精神保健福祉センター 地域支援担当 鴻巣保健所 保健予防推進担当 *鴻巣保健所と共催	市職員、 有資格者 34人

エ データヘルス計画策定支援

県北保健所(熊谷・本庄・秩父)及び鴻巣・加須保健所が地域保健連携セミナー

ーを開催した。管内各市の健康課題・受診率向上の対策を検討し、データヘルス計画策定を支援した。

実施日 会場	内 容	人数
(1)平成28年 11月22日	(1)11月22日 グループ演習 「保健事業を評価の視点から見よう！」 ア 事例提供 神川町保険健康課主査 神川町における「データヘルス計画に基づく地域課題 解決に向けた取り組みについて」 イ 事例提供 神川町保健センター主任 神川町における「毎日1万歩運動」事業における取組 みについて ウ 講演「データヘルス計画の策定による保健事業の 必要性を知ろう」 講師 生活習慣病予防研究センター代表	23人
(2)平成28年 12月22日		
会場 熊谷地方庁舎		
(3)平成29年 1月12日	(2)12月22日 グループ演習 事業評価を見すえたデータヘルス計画策定を考えよう」 ア 事例提供 長瀨町健康福祉課 イ 事例提供 小鹿野町保健課・福祉課 助言者 生活習慣病予防研究センター代表	29人
会場 加須保健所		
	(3)平成29年1月12日 データヘルス策定と策定後の事業評価について情報交換	5人

(9) 高齢者の食支援事業

ア 食事形態に配慮した食事提供に関する学習会

摂食嚥下困難な方に対する食事の提供方法について学ぶとともに、病院、介護保険施設等に所属する管理栄養士等が顔の見える関係を築き、地域連携の促進を図ることを目的に実施した。

実施日会場	内 容	参加者数
平成29年 2月15日 加須保健所	講演及び演習 「高齢者の摂食・嚥下障害と関わり方について」 講師：独立行政法人 国立病院機構 東埼玉病院 リハビリテーション科 主任言語聴覚士	19施設 32人

(10) 出前講座

実施日	内 容	対 象	参加者数
平成28年 5月27日	学校栄養職員等5年目研修会 講師 加須保健所 栄養指導員	学校栄養職員	15人
平成28年 8月12日	学校栄養職員等10年目研修会 講師 加須保健所 栄養指導員	学校栄養職員	9人
平成28年 8月25日	学校保健との食育ネットワーク形成事業 講師 加須保健所 栄養指導員 保健師	加須市内小・中 学校養護教諭	30人
平成28年 9月6日	生活習慣病予防研修会 講師 加須保健所 栄養指導員	事業所従業員	28人

(11) 健康長寿サポーター養成講習

2回 72人養成

(12) 歯科保健

生涯を通じた歯の健康づくりの推進と保健・医療・福祉の連携促進を目的に、関係者の会議と研修を実施した。

保健所歯科口腔保連携会議

実施日	内 容	参加者等
平成28年 9月15日	(1)講演 「埼玉県における歯科保健の推進について」 講師 健康長寿課 医員	参加者 管内市保健センター・高齢 福祉等各市歯科保健担当 北埼玉歯科医師会 埼玉県歯科衛生士会 地域包括支援センター 訪問看護ステーション 保健所職員
加須保健所	(2)報告 テーマ「8020達成型県民社会の実現を目指して」 発表 埼玉県北埼玉歯科医師会 地域保健部長 理事 大澤健祐先生	
	(3)情報交換 テーマ「地域における歯科保健事業の取組状況及び評価について」情報交換	

2 母子保健

(1) 不妊治療費助成事業

少子化社会対策及び次世代育成支援の推進を図ることを目的に、これにより不妊に悩む夫婦が不妊治療を受けることによる経済的負担を軽減し、治療を受ける機会を増大することになった。埼玉県では、平成16年4月から事業を開始した。

なお、平成27年度から男性不妊治療費助成事業が開始された。

特定不妊治療費助成金申請件数	192件
男性不妊治療費助成申請件数	1件

特定不妊治療費助成金支給件数 平成28年度

支給件数	行田市	加須市	羽生市	計
H28	45	82	65	192
H27	32	81	69	182

* 男性不妊治療費助成支給件数 1件

(2) 療育医療

児童福祉法第20条の規定により結核に罹患し、長期の入院を要する児童に対し、治療と教育をあわせて行うために、学習用品、日用品及び医療費を給付している。

申請件数 0件

(3) 子どもの心の健康相談

子どもの心の問題は、複雑で広範囲に及ぶものであり、保健、医療、教育、福祉など他機関にわたっての対応が求められる問題である。この視点から当所では、小児精神科医師と臨床心理士による相談を年16回開催した。

ア 全体の来所状況

小児精神科医師	8
臨床心理士	8
計	16

イ 来所経路

本人・保護者	3
市	36
教育関係機関	1
その他	1
計	41

ウ 来所者の状況

子どもの年齢(実年齢)実(延)人数

	H28	H27
0～6歳	8(14)	12(13)
7～9歳	9(14)	3(9)
10～12歳	6(12)	1(6)
13～15歳	1(1)	3(4)
16～18歳	0(0)	0(0)
計	24(41)	19(32)

相談者(延人員)

	H28	H27
本人・家族	37	24
関係機関	4	18
その他	0	0
計	41	42

相談内容

	H 2 8	H 2 7
行動の問題	1 5	4
心理的問題	8	0
社会化の問題	1 2	1 6
身体化症状	0	0
食行動の問題	1	0
排泄の問題	0	0
習癖の問題	2	5
発達の問題	1 3	6
性の問題	0	0
家族機能の問題	0	1
その他	0	0
計	5 1	3 2

相談結果（延人員）

	H 2 8	H 2 7
対応方法の助言等	3 8	2 9
他機関紹介	1	1
経過観察	0	2
その他	2 3	0
計	6 2	3 2

エ 会議及び研修会

小児精神保健医療推進連絡会議

実施日	内 容	参加人数	参加機関
平成28年 10月5日	ひきこもりに関する 意見交換、情報交換	6人	管内市の母子保健・児童福祉担当 課、保健所

子どもの心の問題に関する研修会

施日	内容及び講師等	参加人数	参加機関
平成28年 10月5日	講演「ひきこもる子ども（思 春期・青年期）の心理」 臨床心理士 高橋 義臣 氏	25人	管内市の母子保健・児 童福祉担当課、教育機 関、保健所

(4) 保健所別母子保健連絡調整会議

管内関係機関間における連携を強化し、併せて母子保健従事スタッフの資質向上を目的に下記内容で会議等を開催した。

開催日	内容及び講師等	参加人数	参加機関
平成28年 6月2日	平成28年度の母子保健事業 について 情報交換	10人	管内市母子保健担当、児 童福祉担当

(5) ふれあい親子支援事業

育児への不安を抱える家族や虐待のリスクのある家族に対して、平成19年11月からグループミーティングを実施していたが、平成27年度でグループは閉鎖。

受理ミーティング、精神科医及び心理士の個別面接、関係職員の研修会を併せて実施し、管内の関係職員のスキルアップを図っている。

	実施回数	参加延人数	
		母	子
精神科医師個別面接	0	0	0
心理相談員個別面接	12	16	9

(6) 長期療養児教室

疾病により長期療養を必要とする児童の保護者同士で情報交換等を行うことができるよう講演会を開催した。

開催日	内容及び講師等	参加人数	参加者
平成29年 2月18日	型糖尿病を持つお子さんとご家族の集い 講義：「成長に伴い起こりうる問題と乗り越える方法を考える」 講師：埼玉県小児医療センター	36人	患者家族、 養護教諭、保健師

(7) 児童虐待防止

ハイリスク児（未熟児や発達障害児等）や虐待事例、母子双方に困難さを抱える事例に対する支援を児童相談所や市児童福祉担当、児童福祉施設等の関係機関と連携しながら行っている。

関係機関との密接な連絡調整に基づき、要保護児童対策協議会及びケースカンファレンスへ参加し、支援の方向性を確認しながら個別支援を行っている。

平成28年度

内 容		回数・件数	
熊谷児童相談所での連絡調整会議等参加		0回	
市等関係機関とのケースカンファレンス等		4回	
要保護児童対策地域協議会参加		15回	
虐待防止ネットワーク会議参加	市町村主催	1回	
虐待（疑いを含む）ケース に関する連絡調整	実件数	6件	
	延べ件数	188件	
個別事例支援	訪問	実件数	5件
		再)児相職員と協働	0件
		延べ件数	37件
		再)児相職員と協働	0件

	面接	実件数	2件
		再)児相職員と協働	0件
	電話	延べ件数	2件
		再)児相職員と協働	0件
		延べ件数	43件

3 難病

(1) 指定難病等医療給付事業

指定難病(平成29年3月31日現在306疾患)、特定疾患(4疾患)、県単指定難病(4疾患)、小児慢性特定疾患及び先天性血液凝固因子欠乏症等について医療給付を行い、適正な医療の普及と患者家庭の医療費の負担の軽減を図っている。

指定難病(特定疾患及び県単指定疾患を含む)受給者数

平成29年3月31日現在

年度	行田市	加須市	羽生市	計
H28	503	769	304	1,576
H27	471	725	276	1,472

(2) 小児慢性特定疾病医療給付受給者数 平成29年3月31日現在

年度	行田市	加須市	羽生市	計
H28	78	93	57	228
H27	74	99	54	227

疾患群別受給者数

No	対象疾患群	H28	H27
1	悪性新生物	27	24
2	慢性腎疾患	8	9
3	慢性呼吸器疾患	9	9
4	慢性心疾患(内科的治療のみ)	56	69
5	内分泌疾患	65	59
6	膠原病	2	3
7	糖尿病	19	16
8	先天性代謝異常	3	4
9	血友病等血液疾患	4	3
10	免疫疾患	4	4
11	神経・筋疾患	18	16

12	慢性消化器疾患	8	8
13	染色体又は遺伝子に変化を伴う症候群	4	3
14	皮膚疾患群	1	0
合 計		228	227

児童福祉法の一部を改正する法律により、平成27年1月1日から新たな制度となり、平成29年4月1日から対象疾病を18疾病増え、722疾病が対象となった。

(3) 先天性血液凝固因子欠乏症医療給付受給者数 平成29年3月31日現在

年度	行田市	加須市	羽生市	計
H28	4	3	1	8
H27	4	2	1	7

(4) 在宅難病患者支援事業

ア 相談・訪問指導

平成28年度

区 分		特定疾患・指定難病	小児慢性特定疾病	血液凝固因子障害
相 談	実 人 員	1,743件	228件	8件
	延 人 員	1,977件	493件	8件
訪 問	実 人 員	14件	1件	0件
	延 人 員	35件	1件	0件

イ 所内ケース支援判定会議

「埼玉県における難病患者等支援に関する手引き」に基づき、ALS患者4ケースに対し、ケース支援判定会議を実施し、在宅療養支援計画を策定した。

ウ 訪問相談員育成事業

在宅神経難病患者に関わる訪問看護師等の支援者が神経難病の特徴を理解して関わることで、より適切なケアにつながり難病患者のQOLが向上することを目的とし、研修会を実施した。(県東部保健所共催)

平成28年度

実 施 日	内 容	対 象 者 (参加者・人数)
平成28年 第1回 11月11日	テーマ:「神経難病患者の呼吸ケア」 春日部会場 講師:国立病院機構東埼玉病院 神経内科医 猪川祐子 氏	訪問看護師等 21人
第2回 12月14日	加須会場 講師:国立病院機構東埼玉病院 神経内科医 生田目禎子 氏	訪問看護師等 22人

エ 集団指導（患者・家族対象）

（ア）医療講演会（県東部保健所共催）

平成28年度

実施日	内 容	対象者（参加者・人数）
平成28年 10月17日	講演「IgA腎症について」 講師 獨協医科大学越谷病院 腎臓内科 竹田徹朗氏	患者・家族 40人

（イ）ALS東部ブロック交流会（県東部保健所共催）

平成28年度

実施日	内 容	対象者（参加者・人数）
平成28年 10月29日	ALS協会主催、保健所は共催で実施 講演「ALSの療養と災害時の対応について」 講師 国立病院機構東埼玉病院 神経内科医長 鈴木幹也氏 患者・家族の交流会	患者 8人 家族 16人 関係者 18人

オ 在宅難病患者支援者研修会

医療依存度が高く、医療や介護等の多職種連携が必要な神経難病患者に関わる支援者を対象に、災害時対策についての研修会を行った。

平成28年度

実施日	内 容	参加者・人数
第1回 平成29年 1月17日	テーマ「在宅療養者の災害時支援」 講義 災害時の避難所の実際 加須保健所 保健予防推進担当 埼玉県の福祉避難所 県障害者福祉推進課 講義と演習「在宅医療機器の取り扱いと災害対策」 講師：プラーナクリニック 阿部博樹氏 協力：帝人在宅医療	訪問看護師、ケアマネジャー、介護支援専門員、行政職員等 41人
第2回 平成29年 2月10日	講義と事例検討 助言者：国立病院機構東埼玉病院 院長 正田良介氏 臨床研究部長 尾方克久氏	訪問看護師、ケアマネジャー、介護支援専門員、行政職員等 31人

（5）原子爆弾被爆者に対する事業

原子爆弾被爆者に対する援護に関する法律（平成6年法律第117号）に基づき、管内居住の被爆者に対して医療給付事務手続等を行っている。

被爆者健康手帳所持者数（人）

平成28年度

行田市	加須市	羽生市	計
7	10	2	19

(6) 肝炎治療特別促進事業

B型及びC型肝炎ウイルスの除去を目的として行うインターフェロン治療及び核酸アナログ製剤治療等に対して医療費の助成を行う。それによって、将来の肝硬変等重篤化に対する予防及び肝炎ウイルスの感染防止、県民の健康保持、増進を図る。

平成26年12月より、インターフェロンフリー治療が追加された。

申請件数

平成28年度

行田市	加須市	羽生市	計
82	87	36	205

4 精神保健福祉

(1) こころの健康相談・訪問指導

平成28年度

来所相談・ 訪問指導等 (実人数)	新規受付経路(再掲)		
	市町村	病院	その他
205	4	8	65

ア 来所相談(再掲)

平成28年度

病態分類別 (実人数)	延べ人数							再掲	
	老人精神保健	社会復帰	アルコール	薬物	思春期	その他	計	ひきこもり	自殺関連
160	1	7	9	7	0	209	233	14	4

イ 訪問(再掲)

平成28年度

病態分類別 (実人数)	延べ人数							再掲	
	老人精神保健	社会復帰	アルコール	薬物	思春期	その他	計	ひきこもり	自殺関連
45	0	5	1	0	0	98	104	8	0

ウ 電話相談等

平成28年度

実人数	延べ人数
213	527

(2) 精神保健及び精神障害者福祉に関する法律に基づく申請・通報・届出等

ア 措置通報件数及び診察結果

平成28年度

区 分	通報及び 申請件数	結 果	
		措置不要 診察不要	要 措 置 (緊急措置を含む)
一般人からの保護申請(22条)	0	0	0
警 察 官 通 報(23条)	7	1	6
検 察 官 通 報(24条)	4	1	3
保護観察所の長の通報(25条)	0	0	0
矯正施設の長の通報(26条)	7	7	0
精神科救急情報センター 及び他保健所受理	12	0	12
計	30	9	21

* 上記に加えて本鑑定 3 (措置不要0、要措置3)

イ 医療保護入院等届出状況

平成28年度

区 分	計
医療保護入院届	122
医療保護入院の退院届	114
医療保護入院の定期病状報告	120
措置入院の定期病状報告	5

(3) ひきこもり関連事業

ア ひきこもり専門相談

臨床心理士による専門相談(月1回): 4回、延べ相談件数5件

イ 家族教室

実 施 日	内 容	参 加 者
平成28年10月26日	テーマ: 精神科医からみた「ひきこもり」の 背景にある病気や障害 講 師: 池沢神経科病院 精神科医 池澤明子氏	1人
平成28年12月7日	テーマ: ひきこもる青年の心理と対応 講 師: 登校拒否文化医学研究所	1人
平成29年2月1日	臨床心理士 高橋良臣氏	1人

ウ ひきこもり関連講演会

実施日	内 容	参加者
平成28年10月5日	テーマ：「ひきこもる子ども（思春期・青年期）の心理」 講師：登校拒否文化医学研究所 臨床心理士 高橋良臣氏	住民及び関係者 25人

(4) 精神保健推進事業

ア 研修

実施日	内 容	参加者
平成28年8月5日	精神保健基礎研修会 テーマ：「精神疾患の基礎知識と精神科医療機関との連携について考える」 講師：不動ヶ丘病院 精神科医 岡安美紀生氏 精神保健福祉士 村上良氏	関係者 13人
平成28年10月28日 平成28年11月2日 平成28年11月30日	精神保健福祉相談研修 テーマ：「相談の受け方について」 事例提供：各市保健センター 講師：心理士 大川千尋氏	管内関係者 34人
平成28年11月11日	精神保健福祉講演会 テーマ：「高齢期における精神疾患の基礎知識と精神科医療機関との連携について」 講師：不動ヶ丘病院 精神科医師 岡安美紀生氏 精神保健福祉士 村上良氏	管内関係者 55人
平成29年2月23日	高齢者福祉に携わる支援者研修 テーマ：「事例から、相談の基礎を学ぼう！」 講師：臨床心理士 菊池礼子氏	管内関係者 15人

イ こころの健康講座

実施日	内 容	参加者
平成28年11月25日	地域移行支援事業講演会 テーマ：「私にあった暮らし方 ～体験発表を通して考える～」 講師：当事者3名	住民及び 関係者 69人

5 結核・感染症

(1) 結核予防

ア 結核相談・指導等件数

平成28年度

相 談			訪 問 指 導			
電 話	来 所	文 書	実人員	再掲DOTS	延べ人員	再掲DOTS
延べ人員	延べ人員	延べ人員				
1041	161	16	123	86	1019	504

年6回、計84名について、コホート検討会を実施した。

イ 新規登録患者数(市別活動性分類)

平成28年12月31日現在

市 別	総 数	肺結核活動性				肺外結核活動性	別 掲 潜在性結核感染症
		喀痰塗抹陽性		その他の結核菌陽性	菌陰性その他		
		初回治療	再治療				
行田市	8	2	0	4	0	2	6
加須市	16	8	1	4	1	2	13
羽生市	11	2	0	4	3	2	40
合 計	35	12	1	12	4	6	59



ウ 管理検診・接触者健診受診状況

平成28年度

区分	受診者数	ツ反検査	IGRA検査	X線直接撮影	喀痰検査	健診結果				
						要治療	潜在性結核感染症	結核発病の恐れあり	異常なし	
管理検診	保健所	18	-	-	18	0	0	-	-	18
	医療機関	125	-	-	125	0	0	-	-	125
	計	143	-	-	143	0	0	-	-	143
接触者健診	保健所	418	0	312	106	0	1	4	8	405
	医療機関	9	1	0	9	1	0	0	0	9
	計	427	1	312	115	1	1	4	8	414

エ 加須保健所感染症診査協議会

- ・ 平成28年度 23回実施
- ・ 諮問件数と内訳

諮問件数	入院勧告 (法19・20条関係)	就業制限 (法18条関係)	公費負担 法37条の2
	181	62	21

(2) 感染症予防

ア 感染症法に基づく全数把握対象感染症数

平成28年度

類型	感染症名	発生	調査	接触者健診
三類感染症	腸管出血性大腸菌感染症 O-157	6	6	17
	細菌性赤痢	1	-	-
四類感染症	レジオネラ症	5	-	-
	E型肝炎	1	-	-
五類感染症	梅毒	1	-	-
	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	2	-	-

イ 施設等への感染症集団発生対応

感染症の集団発生があり、連絡があった施設に対して、調査や対応等の相談を実施

インフルエンザ	10件
感染性胃腸炎	4件
ヒトメタニューモウイルス感染症	1件

ウ 性感染症相談事業

エイズ等の性感染症、B・C型肝炎に関する相談、検査（月2回）を実施

相談 件数	電 話	延べ 98件	検 査 件 数	H I V抗体検査	49件
				梅毒反応検査	45件
				H B s抗原検査	50件
	来 所	延べ 104件		H C V抗体検査	50件
				クラミジア検査	30件

エ 管内市感染症業務担当者連絡会議

実施日	内 容	参加者
平成28年6月15日	最近話題の感染症等について情報提供・新型インフルエンザ等対策について情報交換	各市担当者

オ 研修

感染症予防の正しい知識の普及啓発を目的として実施

実施日	内 容（ 講 師 ）	参加者
平成28年 8月4日 (地域推進担当 主催)	講話「医療機関における院内感染防止対策」 講師 栗橋病院 小美野勝氏 報告 医療機関の取り組み 行田総合病院 平直美氏	管内医療機関の 医師・看護師・ 事務等 31人
平成28年 9月8日	高齢者施設向け感染症予防研修会	高齢者福祉施設 職員 46人
平成28年 6月24日 10月21日	TONE感染カンファレンスにて情報提供 「蚊媒介感染症、梅毒、麻疹等トピックスについて」 保健所職員	医療圏内の 看護師等 各会約90人
平成28年 11月15日 平成29年 2月1日	感染症予防講話 「インフルエンザ、感染性胃腸炎、結核について」 保健所職員	美容業生活衛生 同業組合員 46人 施設職員 29人
平成29年 1月11日	防護服着脱訓練 保健所職員	保健所職員 専外来看護師 等24人